

人の能力を引き出す仕事 ～人事の仕事～ ー下ー

オムロン株式会社 グローバル人事部 吉原 聖子さん

私は、オムロンという会社で、グローバル人事の仕事をしています。人事の仕事については前回に書いたので、今回はその前にやっていた海外営業の仕事の話から始めます。



世界を相手にする仕事として海外営業を選びました

営業の仕事は、人事に比べてみなさんも想像がしやすいと思います。私が担当していたのは、テレビやビデオを海外に売ることでした。これは大学生の頃、私がやりたいと思っていた仕事です。なぜ、この仕事を希望していたかというと、海外を相手にする仕事がやりたかったのです。日本発で海外で勝負できる仕事として選んだのが、テレビやビデオなどの家電製品を海外に売る仕事だったのです。今では、韓国や台湾・中国の家電メーカーがとて強くなってきて、日本の家電メーカーは押され気味ですが、当時は日本のメーカーがダントツに強い時代でした。

ここで、あれ？と思う人が出てきたかもしれません。オムロンって、テレビやビデオなどの家電製品を作ってたっけ？と。そうです、オムロンではこのような家電製品を作ったり、売ったりしていません。実は、私はオムロンで働く前に別の会社で働いていて、そこが家電メーカーだったのです。つまり、私は転職をしたのです。転職については、もう少し後で、詳しく書きます。



営業とは会社の代表としてお客さまに接する仕事

学生時代の希望通り、私は家電メーカーに就職し、海外営業の仕事を始めました。私が担当していたお客さまは、海外の「代理店」というところで、私が当時勤めていた家電メーカーと代理店契約という契約を結んで、その国でその家電メーカーの商品の輸入と販売をすることが認められていた会社です。

営業の仕事の基本はお客さまから注文をもらうことです。商品の価格と台数、そして納期（いつお客さまに届けるか）という主にこの3つの条件について、お客さまと交渉し、注文をもらいます。しかし、まあ、これらの3つがうまく揃うことはそうありません。価格については、ほとんどいつも値下げを要求されます。また、営業担当として社内で割り振られた予算があり（ノルマというほど厳しいものではありませんでしたが）、1000台を売らないといけない時でも、お客さんは500台しか買ってくれないということも多々あります。また、納期の問題というもあり、お客さまが1000台欲しいと言ってきていて、価格もこちらの条件に合っているのに、工場の生産が追いつかないとか、生産に必要な部品が手に入らないとかで、お客さまの要望に応えられない

こともあります。

また、営業の仕事というのは、注文をとって終わりではなく、まだその先があります。会社によって異なるところもあると思いますが、お客さまからとった注文を工場につないで、生産の手配をする、生産できれば、それをお客さまに届ける手配（出荷）をする、そして、その代金をお客さまから受け取る、ここまでが一連の仕事です。さらに、商品に不良などがあれば、そのクレームも受け、対応します。また、ライバル会社の状況を調べたり、お客さまの要望を聞いて、新製品の提案をすることもあります。えー、なんでもやるの？と思うかもしれませんが、実際に不良商品を修理したり、新製品の企画をするわけではなく、それぞれ専門の部門があるので、その部門にお客さまの声や状況を伝えるのが、営業の仕事です。つまり、生産、商品企画、品質保証、経理などの会社の様々な部門とお客さまの間に入って、会社の代表としてお客さまに接するというのが営業の仕事だということができます。



大変なことも多かったですがやはりやりがいのある仕事でした

やるのがたくさんあって、また、交渉がうまくいかないことも多々あり、営業の仕事というのは、大変と言えば、大変なのですが、お客さまの信頼を得ることができ、会社の代表として、様々な交渉ややりとりをすることは、私にとってはとてもやりがいのある仕事でした。特に、お客さまが海外の人たちであり、海外出張のチャンスもあって、バーレーンやエジプト、オマーン、ブラジルなどそう簡単には行く機会のない国にも行くことができ、現地のお客さんたちと、直接、交渉するのは、とても楽しかったです。また、当時担当していたテレビやビデオは、マレーシアやタイ、中国などの工場で生産しているものもあり、工場に発注したり、出荷の指示をしたりする相手もこれらの国の現地の人たちで、それもエキサイティングでした。担当する商品や国も3年くらいごとに変わり、刺激的でもありました。



営業の仕事に必要なのは好奇心と実行力

営業の仕事にまず、必要なのは好奇心です。上述のように営業担当者は会社の代表として、お客さまに接します。会社の色々な部門のことについて知っておく必要があります。生産や品質保証、商品企画、経理など一つひとつについて専門的に深く知る必要はありませんが、全体を把握しておかなければなりません。そして、お客さまのことも十分に理解しておかないとい仕事ができせん。また、ライバル会社のことや、マーケット全体

について、アンテナをはりめぐらせて情報をタイムリーにキャッチしなければなりません。

そして、お客さまから注文をもらうために、また社内でも色々な部門にかけあって、お客さまの要望を実現してもらうために、努力を惜みず精力的に動き回れる実行力がとても重要です。



人事に異動したのは興味が「ひと」に移っていったから

このような営業の仕事も私には合っていたと思うのですが、入社後10年が過ぎた頃から、担当していたテレビやラジオといった商品よりも、もっと気になる、もっと興味のあるものが出てきたのです。それは「ひと」でした。当時、所属していた部門がとて忙しい部門だったということもあり、周囲で働いている人たちが、元気がなくなって、一人ひとり、能力もあり素晴らしい人たちなのに、全体がどよ～んとしていて、イキイキと働いているとは言えない状況になっていました。

「この人たちが、本来の力を仕事で発揮し、イキイキと働き、それによって会社全体をもっとよくするために、『何か』やらなければならないことがあるのではないか」「私はその『何か』を考え、やってみたい」と思うようになったのです。それが、前回説明した人事の仕事です。そして、上司や人事部長に「人事部に異動させて欲しい」と願い出たところ、しばらくして、それが叶えられました。

人事の仕事に慣れるのには、時間がかかりましたが、1年たって、ようやく、人事担当者として、一通りのことができるようになり、本当に自分がやりたかったことが、少しずつやれるようになってきました。そうなる、仕事がどんどんおもしろくなってきて、人事が私の天職だなあと思うようになりました。オムロンでの人事の仕事の内容について、前回、書きましたが、転職する前の会社でも仕事の本質的な部分は全く同じでした。



そして、また新しい挑戦として転職しました

人事部門に異動になって7年たった頃、別の会社で新しい挑戦してみたいという気持ちがとても大きくなり、転職しました。その頃ちょうど、オムロンで私の専門のグローバル人事の担当者を募集していて、そこに応募して、採用となったのです。そして今に至ります。

少し前までは、日本では「終身雇用」と言われるように、一度就職したら、ほとんどの人は定年までその会社で働くというのが一般的でしたが、最近では、自分がやりたい仕事やもっと成長で

きると思える仕事を求めて転職する人が増えてきました。これは、とてもいいことだと思います。学校を卒業してから、40年くらい働くわけですから、その間に会社の状況も変わるだろうし、私たち自身も考え方や働き方が変わってくる場合があります。その変化に応じて、会社を変わるという選択肢はあっていいと思います。就職した後も、その会社の中だけでなく、社外にも広く目を向け、仕事のこと、自分のことを考え続けていくことが、転職する・しないに関わらず、自分の納得のいく「いい仕事」をしていくために重要だと思います。



高校生のみなさんへのメッセージ

最後に、高校生のみなさんにお伝えしたいことがあります。

「今、目の前にあること、今、やらなければならないことに、全力で取り組んでください。」

今、みなさんの目の前にある、やらないといけないことは、もしかすると、みなさんがやりたいと思っていることとは違うかもしれませんが、また、将来的にも必要ないと思えることかもしれません。大学受験に物理は不要なのに、また、おもしろいと思えず、苦手なのに物理の授業を受けなければならない文系の人のケースというのが具体的で分かりやすいですかね（笑）。私も偉そうには言えませんが、そのような場合でも、少なくとも授業中は、物理に全力で取り組んでみてください。真剣にやってみれば面白いと思えてくる部分があると思います。そして、面白いと思えれば、理解できるようになってくるはず。その結果、興味のわかないことや、苦手と感じることにも、真剣に取り組んでみると、面白くなったり、できるようになってくるということを経験することができます。すると、これからは、その応用で色々なことに挑戦したり、自分にできることが増えていったりします。それは、しんどいことのように思えるかもしれませんが、行動様式として定着させてしまえば、実はとても楽で、楽しいものです。言い換えると、「『自分で自分の範囲や限界を決めて、その中にとどまる』ということはいらないでください」ということです。ひとの可能性というのは無限だと私は信じています。それを有限にしているのは、実はその人自身なのです。

みなさんには、ぜひ色々なことに挑戦して、自分の可能性を広げていてもらいたいと考えています。そうすることで、自分のやりたいことを見つけて、その仕事に就くことができるでしょうし、就職した後も、いい仕事ができ、何より自分が納得できる人生が送れるようになると思います。

みなさんの前には、文字通り、無限の可能性のある世界が広がっているのですから、それを存分に楽しむような気持ちで、がんばってください！ 応援しています。